

# HAMLOGを使ってみよう

JARL 三重県支部  
技術部会 2024.02

HAMLOGは JG1MOU/浜田OMが MS-DOS上で開発された アマチュア無線用のログソフトです。

正式名称は 「**アマチュア無線業務日誌 Turbo HAMLOG**」 といいます。

**Turbo** Cで開発した **HAM**用の **LOG**ソフト と言うことで名付けたそうです。  
フリーソフトなので かなりの局が使用しているようです。(以下 **HAMLOG**と記述します)  
このソフトは、PC98シリーズの MS-DOSと DOS-V機で動作しました  
FM-7, 8で動作するように改造されたのも存在するようですが 基本は MS-DOS  
と Windows上のみです。(HAMLOG/Win と書く場合もあります)  
現在では、MS-DOS上のソフトは V-UPされていませんが 動作はするようです。  
現在の最新バージョンは Windows 版 Ver5.39 (2023.05.25 日リリース) です  
詳細については HAMLOGのHPで確認してください。

## HAMLOGを使用するための手順

1. HAMLOGをインストールします。  
ソフトウェアは HAMLOGのホームページから入手します。  
THW539.EXE 半自動インストール版  
THW539.Zip ZIP書庫版 (解凍用のソフトが必要です)  
のどちらかをダウンロードしてください。  
(インストールについては「HAMLOGインストール」の手順で説明します)
2. インストールが完了したら 初期設定を行います  
各項目をどのように使用するかを決めます  
たとえば、どの項目で IME (漢字モード) を使用するとか 項目の長さを  
設定します  
(各項目の設定については「入力画面とデータ画面の設定」で説明します)

インストールと初期設定が終われば、とりあえず交信データ (過去も含めて) を  
入力していきます。

この時に 入力項目の設定を確認しながら 自分自身の使いやすい形に設定を行います

3. QSOのデータが入力されたら QSLカードを印刷します。  
手書きでも構わないのですが 結構いやらしいところもあるので  
QSLカードのひな形もあるので これを修正して印刷ができます。  
各項目の記述については HELPファイルを参照してください。  
印刷用のQSLカードのパターンが何種類か準備されているので これらを参照  
しながら 各自の好みのフォーマットに仕上げていきます

4. QSLカードが届いたら QSLの受領マークを書き込みます  
紙カードからの相手局のコールサインを入力すれば 過去のQSOを 表示してくれるので  
該当の項目を選んで チェックを入れます

ここまで進むと 交信した周波数、エリア（市、郡、町村別に）を見ることができます  
バンドごとの 未交信エリアをチェックしたり コンテスト用のデータを抽出したり  
色々な使い方ができますか（Csv ファイルの意味とか エクセルが使えること）

5. HAMLOG User ファイルへの登録

このリストの目的は 交信相手局に対して 運用地や名前の入力を楽しむために  
作られた代物です。ただ 登録時には 「JARL会員であること」、「JARLの  
メール転送を設定してあること」 の条件が付きます。

以前は 無条件に登録できたのですが 第3者が本人に無断で登録したことがあり  
物議をかもしたことがあり 本人確認のために JARLのメール転送を設定してある  
ことが条件となりました

6. デジタルモードから HAMLOGへのQSOデータの転送

WSJTXやJTDXでの QSO完了データを HAMLOGで受け取る処理です。  
当初は 間に 転送用のソフトウェアが介在していたのですが HAMLOGの  
作者が FT8を始めたことでもあるのでしょね 直接受け取ることができるように  
なりました

7. HAMLOGユーザー間で 電子QSLの交換が可能となりました

ユーザーからの要望があったのかもしれませんが 楽しい処理を組み込んで  
いただきました

8. 交信データの保存について

QSOしていると PCが壊れて過去のデータが無くなった。 というお話が  
時々あります

このために QSOデータのバックアップが必須です。

HAMLOGの中に 交信データのバックアップの処理もありますが  
PC本体のどこかに 圧縮FILEで保存されています。

これでは PCが壊れたときに復元できませんし 圧縮FILEなので 解凍方法も  
対応する必要があるので もっと簡単にする方法として

① 外部のUSBメモリーを準備します。

② ここに HAMLOG\_BKUPなる フォルダを作ります

この フォルダ名は各自適当につけてください。自身のメモですから

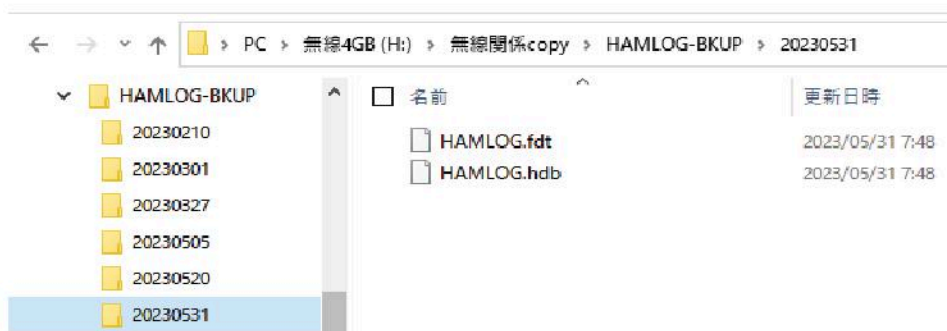
③ このフォルダの配下に 新しいフォルダを作ります

このフォルダ名は バックアップする日付を推奨します

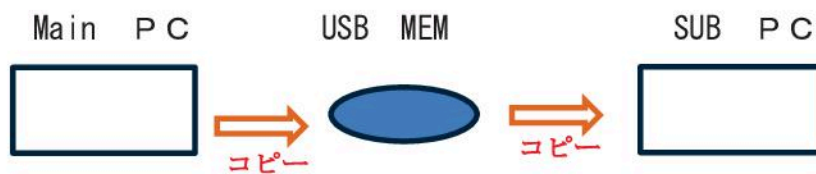
例えば 20230701 とすると バックアップした日付がわかりやすいと  
思います。

④ データのある HAMLOGフォルダから HAMLOG.FDT と HAMLOG.HDB の

2個のデータをコピーしておきます。



この処理により、バックアップ日付がわかります。 また、複数のPCでHAMLOGを使用しているときにも 他のPCへコピーすればデータを共有できます



#### 9. V5.39で追加された機能

これは、FT8を運用している局用のものです（CQ誌 2023年7月号より）

##### ① JT-Get'sによる 簡易時刻合わせ

PC内の時計がずれていると QSOができにくい場合があるので PCの時計を受信している局の時刻に合わせる方法です。

移動運用時に GPS時計がなかった場合にうれしい処理です

##### ② JT-Get'sの画面から QSOしたい局の行をWクリックすると WSJTXが（JTDXも）前面に表示されて送信を開始する。

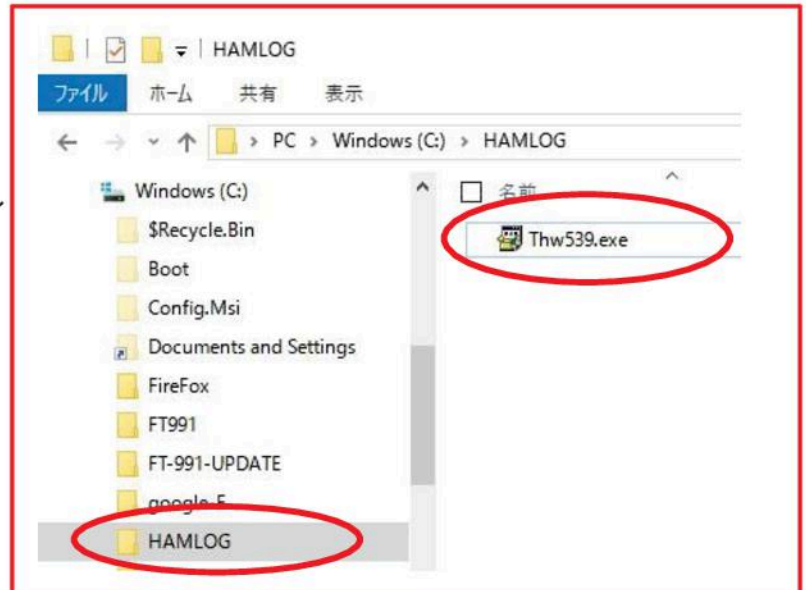
過去の交信履歴が表示されているので 目線を変えて WSJTX側で Wクリックして 送信を始める手間が省けるようになりました

上記 2項目以外にも追加された機能があるので HAMLOGのhelpファイルを参考にしてください。

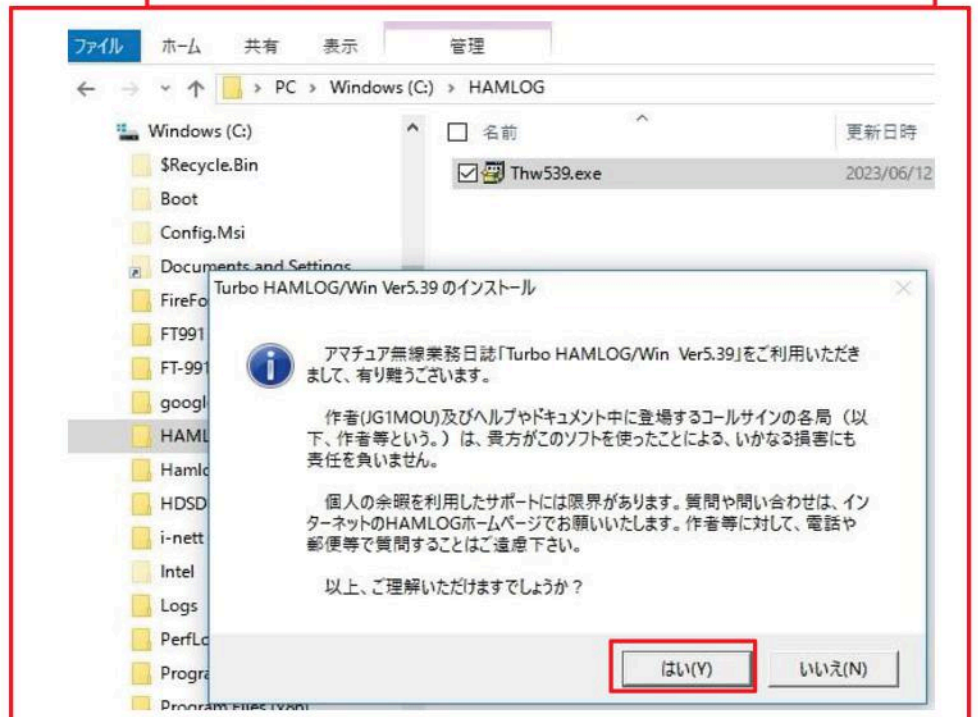
以前は ②項の処理で 目的局の免許状が表示されたのですが 今回は 目的行を選び Enterキーを押下する方法に変わりました。

# HAMLOGのインストール手順

1. PCのCドライブの配下に「HAMLOG」フォルダーを作成しこのフォルダー内に Thw539.exe を格納しておきます。インストールはHAMLOG フォルダ内の Thw539.exe をダブルクリックして開始します。る

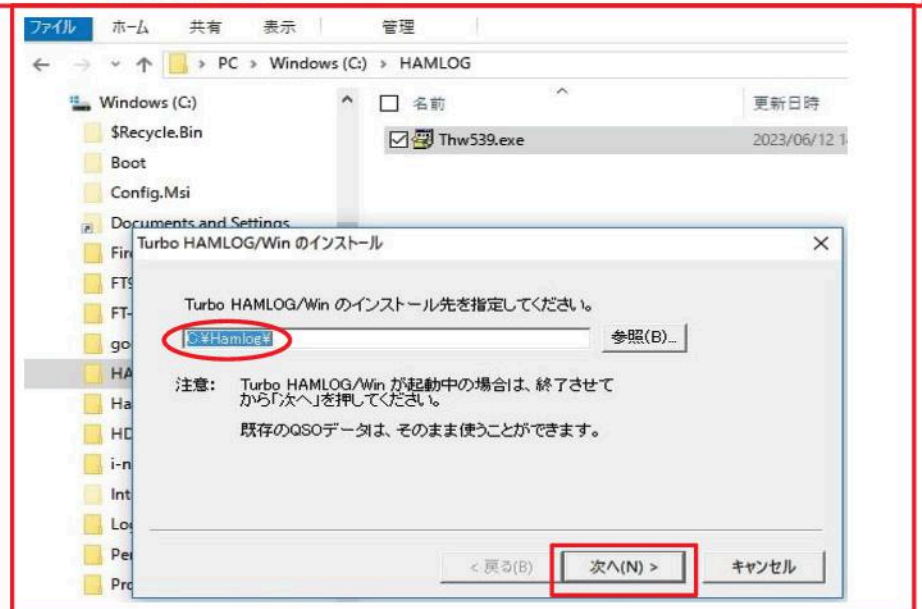


2. インストール開始時のメッセージ「はい」をクリックして続行します。



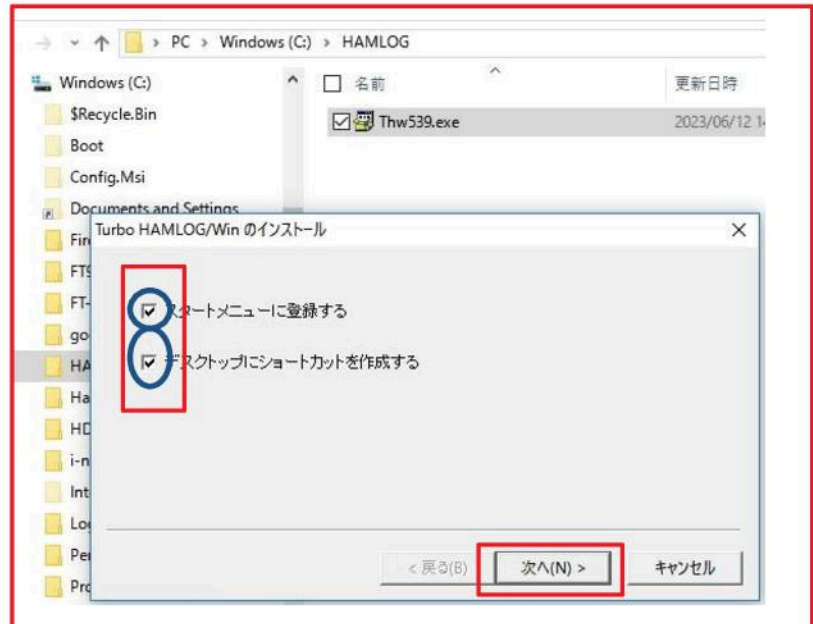
3. インストールするフォルダーを指定します。

Thw539.exe が格納されているフォルダーが指定されています。ここでよければ「次へ」をクリックして続行します。



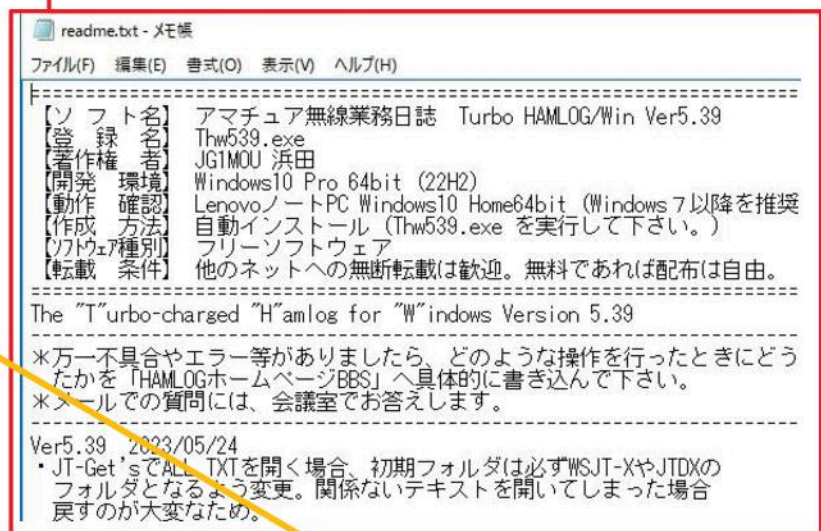
4. 必要な処理に **レ**点をいれて「次へ」をクリックして続行します。

いくつかの質問が出てくるので「はい」または「次へ」を選択して続行します。

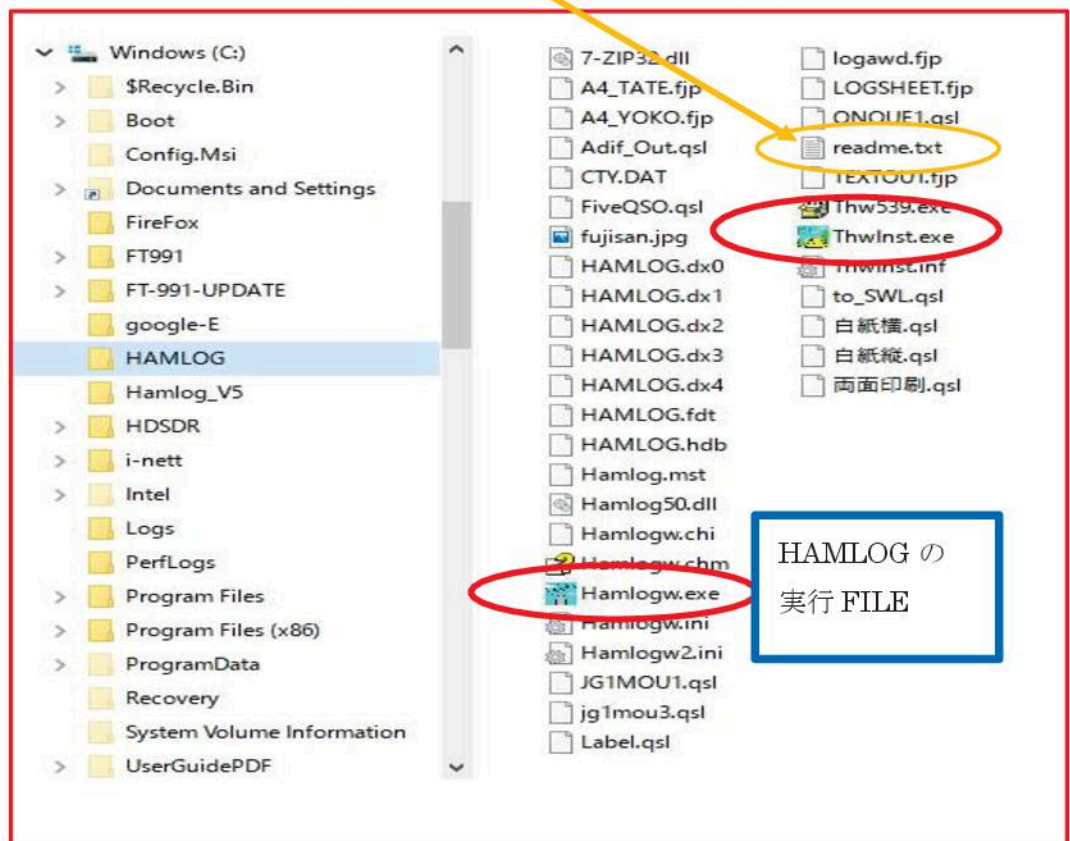


5. インストールが完了するとHAMLOGの説明が出るので機会があれば読んでおくことをお勧めします。

(readme.txt です)



6. インストール完了時のフォルダー内のFILE類です



7. ディスプレイ内にできている HAMLOGのアイコンをダブルクリックして起動します。

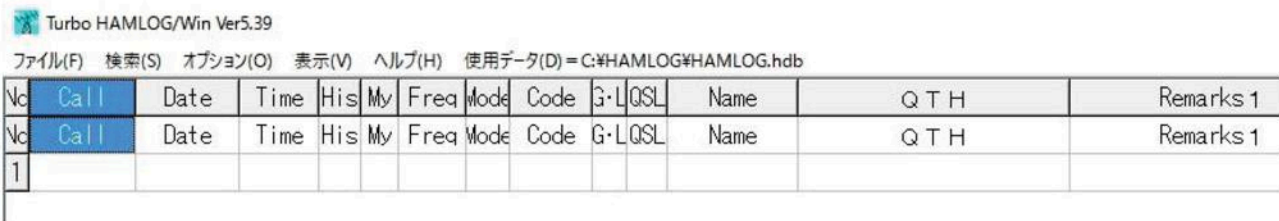


データ FILE ができていないので「はい」をクリックすると FILE を自動作成します。

HAMLOG.hdb がデータ FILE なのです



8. 最初に現れる HAMLOGの画面です。



9. リターンキーを押下すると データの入力画面が表示されます。「Call」が赤字になっているのは この部分への入力が可能 を示しています。



10. データ入力画面へ 相手のコールサインを入力すると Date と Time が PC内の時計から転送されます。RSレポート以降は 交信時のデータを入力していきます。RSレポートは 初期値で 59 (599) が表示されるので 交信データで変更していきます。

# 入力画面とデータ画面の設定を行います



検索タブを選択

Q S L 受領マーク：受け取ったQ S Lカードの受領マークを付けます

項目ごとの処理については ある程度のデータを処理してから 各項目の検索をしてみてください・



オプションタブを選択

入力環境設定を選択して 入力データの各項目ごとの 指定を行います。

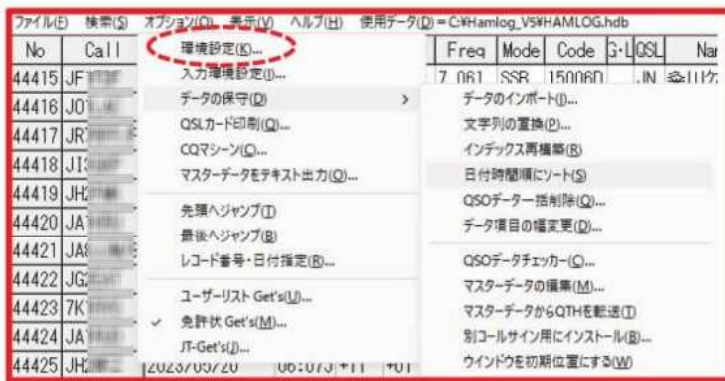


オプション入力環境設定 を選択

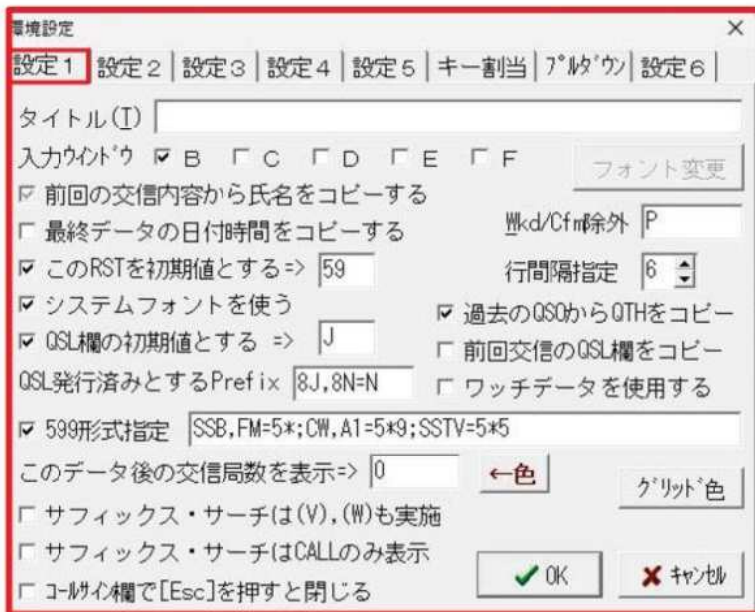
ログの入力項目を設定する

1. I M E (漢字入力) を有効とする項目
2. リターンキーで次の項目へ移動させる指定

点(L)が設定されていない項目はスキップされる  
この設定だと JCC/G コード入力後は  
名前の項目まで カーソルが移動する  
ユーザーリストはユーザー登録してからでない  
と使用できないので 点(L)をつけないでください。  
「OK」をクリックして終了します



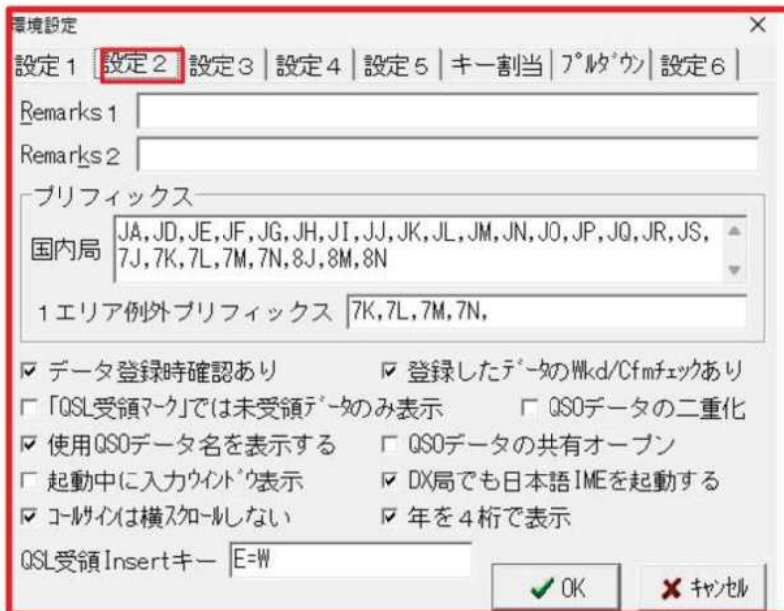
オプション→環境設定 を選択



設定1のタブを選択

タイトル： HAM LOG画面の上部へ表示する文字列を入力しておきます。入力ウィンドウは 最大使用数を設定するBに点があれば 2枚使用できます。

必要と思われる項目に点をつけておきます。使用しながら 設定を変更して 使い勝手の良い環境を作っていきます。



設定2のタブを選択

Rem 1、Rem 2に記載した内容は入力画面で コールサインを入力後 エンターキーを押下したタイミングで入力画面に取り込まれます 移動運用の運用地とか アワードのポイントとかを記入しておくことにより 自分自身の記録にもなります 後日のQSOで前回の更新場所がわかることで 話の内容が増えますから





設定6の 下側部分

入力項目の文字数を表示しています  
自分の必要な文字数に設定してください。

## 交信データの表示について

下図のように 昇順表示 (上側が 1 番)

降順表示 (下側が 1 番) の表示方法があります

No	Call	Date	Time	His	My
44429	JA	2023/05/20	06:00	+08	+04
44430	JE	2023/05/20	06:00	+06	-19
44431	JL	2023/05/20	06:00	-06	-06
44432	JM	2023/05/20	06:00	-06	-06
44433	JN	2023/05/20	06:00	-06	-06
44434	JO	2023/05/20	06:00	-06	-06
44435	JP	2023/05/20	06:00	-06	-06
44436	JQ	2023/05/20	06:00	-06	-06
44437	JR	2023/05/20	06:00	-06	-06
44438	JS	2023/05/20	06:00	-06	-06
44439	JT	2023/05/20	06:00	-06	-06
44440	JU	2023/05/20	06:00	-06	-06
44441	JV	2023/05/20	06:00	-06	-06
44442	JW	2023/05/20	06:00	-06	-06
44443	JX	2023/05/20	06:00	-06	-06
44444	JS	2023/05/20	19:00	-08	-11

新しいデータは 昇順の場合は 下側へ追加され 降順表示の場合は 上側へ追加されます。  
この切り替えは 以下の手順によります

HAMLOGの画面上で マウスを  
右クリックすると 右図のメニューが  
表示されます

赤枠で囲んだ部分

「降順に表示させる」 をクリック  
すると **▼**点が表示されると  
降順に表示される  
もう一度クリックすると **▼**点が  
消えて 昇順に表示されます

これは 皆様が使用してみて 使い勝手が  
良い方を選択してください。

No	Call	Date	Time	His	My
44415	JF	2023/05/19	10:00	150	59
44416	JG	2023/05/19	10:00	150	-15
44417	JH	2023/05/19	10:00	150	+08
44418	JI	2023/05/19	10:00	150	-12
44419	JJ	2023/05/19	10:00	150	-06
44420	JK	2023/05/19	10:00	150	59
44421	JL	2023/05/19	10:00	150	59
44422	JM	2023/05/19	10:00	150	+09
44423	JN	2023/05/19	10:00	150	-04
44424	JO	2023/05/19	10:00	150	+00
44425	JP	2023/05/19	10:00	150	+01
44426	JQ	2023/05/19	10:00	150	+03
44427	JR	2023/05/19	10:00	150	-15
44428	JS	2023/05/19	10:00	150	-03